

様式第 48 (第 88 条関係)

×整理番号	
×受理年月日	年 月 日

液化石油ガス設備工事届書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

新城市長 様

氏名又は名称及び法人に 〇〇〇〇株式会社
あつてはその代表者の氏名 代表取締役 〇〇〇〇

住 所 〇〇市〇〇字〇〇 〇〇番地

液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第 38 条の 3 の規定により、次のとおり届け出ます。

工事に係る供給設備又は消費設備の所在地	〇〇市〇〇字〇〇 〇〇番地 ※供給先の所在地を記載
当該設備の所有者又は占有者の氏名又は名称	〇〇〇〇アパート ※名称（建屋、施設名等）を記載
当該設備の使用目的	アパート（50戸）の一般消費者等に液化石油ガスを供給
貯蔵設備の貯蔵能力	・ 50kg 容器 〇本（〇〇〇kg） ・ 980kg バルク貯蔵 1基（980kg）
工事の内容	・ アパートの供給設備の設置工事 ・ 貯蔵設備の位置の変更、供給管の延長等

- (備考) 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
2 ×印の項は記載しないこと。
3 氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、署名することができる。この場合において、署名は必ず本人が自署するものとする。

別 紙

設 備 工 事 の 内 容 等

工事従事者 氏 名	氏 名	設備士免状番号	氏 名	設備士免状番号
	消防 太郎	第〇〇〇号		
完成検査 実施者名	〇〇 〇〇			
気密試験 結 果	供給管等内容積	圧 力	気密試験保持時間	
	〇〇〇.〇 ^{リットル}	〇〇kPa	〇〇分	
貯 蔵 設 備	火気との距離	〇〇 m		
	腐食防止措置	錆び止め塗装 等		
	転落、転倒防止措置	鎖 ・ ロープ ・ その他 ()		
	40℃以下対策	屋根、遮へい板、容器庫に屋根有り 等		
調整器メーカー・型式		〇〇〇〇株式会社 〇〇〇〇 等		
埋 設 配 管	高压部 材質	STPG370-15A Sch80 等		
	中圧部 材質	STPG370-15A Sch80 等		
	低压部 材質	埋設管	SGP	露出管 SGP、SUS304
気 化 装 置		有・無	ガス発生能力	kW
安 全 装 置		1	例：マイコンメーター (S、SB、E、EB、II 等)	
		2	例：ガス漏れ警報器	
		3	例：ガス放出防止装置	
		4	例：耐震自動ガス遮断器	
		5	例：ガス漏れ警報遮断機	
		6	例：漏洩検知装置	

別紙（容器）

供給設備の技術上の基準

（容器による貯蔵能力が1,000kg以上3,000kg未満のものに限る）

1. 保安距離	① 第1種保安距離（法定16.97m・障壁設置 0m）実際距離〇〇m 保安物件の名称 〇〇小学校 ② 第2種保安距離（法定11.31m・障壁設置 0m）実際距離〇〇m 保安物件の名称 〇〇マンション
2. 障壁	① 障壁の構造 材料 鉄筋コンクリート 寸法（高さ）200cm（厚さ）15cm ② 扉の構造 材料 鋼板（厚さ）0.4cm ③ 扉の補強 等辺山形鋼（枠）〇〇mm×〇〇mm（内）〇〇mm×〇〇mm 間隔（縦）〇〇cm（横）〇〇cm
3. 火気取扱施設との距離	① 火気等の種類 屋外給湯器等 火気等との距離 3.2m ② 火気距離 障壁（材料）鉄筋コンクリート 高さ 2.0m
4. 滞留防止	① 貯蔵設備面積 5.0㎡ 法定換気口面積 1,500㎤ ② 実際の換気口面積 3,200㎤
5. さく、へい等の設置	さく、へい等の種類 鋼板製容器収納庫等
6. 警戒標	① 掲示位置 収納庫側面等 ② 表示内容 LPガス貯蔵設備、燃、火気厳禁等
7. 消火設備	① 粉末消火器 ABC20型2本等 ② その他
8. 軽量の屋根等	① 屋根の場合 その材料 繊維強化セメント板等 ② 遮へい板の場合 その材料 薄鉄板等
9. 転倒防止等の措置	収納庫に容器を設置、独立支柱により固定等
10. 腐食防止措置	錆び止め塗装等

別紙（バルク貯槽）

バルク供給設備の技術上の基準

1. 貯槽の設備状況	コンクリート基礎地上設置 等
2. 貯槽の適合性	特定設備検査合格証（発行番号〇〇〇〇）を添付 等 ※バルク貯槽は、特定設備検査合格証及び特定設備基準合格証を有するものであること。
3. 保安距離	① 第1種保安距離（法定1.5m 構造壁等又は埋設設置 0m）
	実際距離 6 0 m 保安物件の名称 〇〇小学校
	② 第2種保安距離（法定1.0m 構造壁等又は埋設設置 8 m）
	実際距離 1 0 m 保安物件の名称 一般住宅
4. 構造壁等	壁の構造 材料 〇〇〇 寸法（高さ）〇〇m（幅）〇〇m
5. 貯槽の表示	LPガス・火気厳禁・緊急連絡先
6. 腐食防止措置	貯槽下地処理、錆び止め塗装2回、上塗り塗装2回 基礎の高さ地盤面から5cm以上打設 等 ※基礎部分の写った写真を添付して下さい。
7. 転倒防止等の措置	アンカーボルト固定 等
8. プロテクター内のガス漏れ検知器の設置等	バルク用警報器 〇〇〇〇設置 等
9. 火気等との距離	① 火気等との距離 〇〇m
	② 火気距離が2m以内 防火壁等の設置の有無

案内図

平面図

配管図

緊急時連絡先

	名 称	電話番号	住 所
昼	〇〇ガス〇〇支店	〇〇〇〇	〇〇県〇〇市〇〇
夜	〇〇ガス〇〇支店	〇〇〇〇	〇〇県〇〇市〇〇

消 火 器

設置場所（容器置場平面図の通り）	消火能力（A-4,B-10以上）	数
	粉末消火器 20型	2

貯蔵設備の写真

(消火器を写し込んだもの)

別紙

気密試験用器具一覧表

メーカー名	型 式	台 (個) 数
〇〇計器株式会社	自記圧力計 (型式：〇〇〇〇)	2台

(注) 自記圧力計等のカタログを添付すること。

別紙

液化石油ガス設備士免状所有者名簿

氏 名	住 所	免状番号
〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	〇〇市〇〇町〇〇番地 〇〇市〇〇町〇〇番地	第〇〇〇号 第〇〇〇号

(注) 免状の写しを添付すること。